

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |   |            |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 35   | 防災訓練は8月と11月に実施に加え、2月に自主訓練を実施している。また防災訓練前と実施後にはそれぞれ近隣住民に回覧板でお知らせし、地域の方も防災協力員になって頂いている。また全職員に防災機器の取扱い方のレクチャーを実施しているが、防災訓練と防災機器の取扱い方のレクチャーだけでは防災意識と危機管理の向上が図りづらいことで、いざという時に慌てずにスムーズな避難誘導ができない可能性がある。 | 方が一の際に慌てずに安全な避難誘導ができる。   | 3ヶ月に1回事業計画にて計画し、避難誘導の訓練を実施することで、職員と入居者様それぞれの防災意識と危機管理の向上を図る。  | 3ヶ月        |
| 2        | 45   | 入浴は週に2日、午後16時～実施している。また、清拭・足浴も導入しているが、ご希望に応じて積極的に入浴へのお誘いを行い、入浴の回数を増やす援助が必要である。  | 入居者様の希望日に応じた入浴ができる。  | 入浴は16時～17時30分の時間に行っているが、入浴日に限らず、希望頂いた方は入浴して頂く。  | 3ヶ月        |
| 3        | 40   | 食事を入居者様と同じ空間で食べる取り組みは、見守りの重要性を重視し、安全を勧める法人の取り組みとして行っていない。また、身体機能が著しく低下し、且つ重度認知症の受入れや看取り対応が多いため、入居者様と一緒に食事をするのが難しい状況もある。   | 楽しみながら安全に食事ができるよう取り組む。また、口頭で指導頂いた果物についても、多く取り入れるよう栄養士へはたらきかける。 | 身体機能が低下し、認知症重度の方への対応を個別的な支援として位置付け、味や温度、食感などを声掛けしながら楽しんで頂くための援助を行う。また、看取りの方においても、食べられる物をおいしく経口摂取できるようご家族様と連携を図っていく。食を一緒に楽しむ取り組みとしては、手作りおやつなどを一緒に作った際に一緒に食したり、イベントなどの際には一緒にテーブルにつくなどの工夫をしていく。また、献立作成を委託している栄養士とのキッチン会議において、献立に果物などのデザートを多く取り入れるよう依頼する。 | 6ヶ月        |
| 4        | 6    | 施設周辺は道路に囲まれており、交通量も多く、コンビニエンスストアも隣接していることから車等の出入りも多く、安全性を優先し、法人の方針としてホールの出入口は施錠することとしている。入居者様並びにそのご家族様には、入居検討段階の館内案内や契約時にご説明し、同意を頂いた上で施錠している。   | 安全性を重視する観点から、施錠は継続して実施する。入居者様に閉塞感を感じさせないよう、外出の機会を増やす。          | 外食会・外出行事は月1回のペースで継続していく。また、近隣の美容室にお連れし、美容を楽しんで頂いたり、自治体主催のピンシャン体操にできるだけ多くの入居者様に参加して頂くことに加え、地域主催の催し物などの参加も積極的に行うことでひらかれたグループホームを目指す。  | 3ヶ月        |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

NO. 4178  
 2014年 2月14日 11時06分  
 グループホーム城東